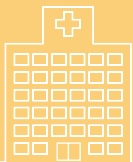


八鹿病院 ニュース



2016年

7月号

地域に暮らす人々と共に
心あたかな医療をすすめたい



Yoka hospital 「医療」

回復期リハビリテーション病棟

- DMAT活動報告(熊本災害・消防訓練)
- トピックス
- 八鹿病院職員募集

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は敷地内全面禁煙です。
ご協力宜しくお願いいたします

回復期リハビリテーション病棟

平成13年、兵庫県下で初めて認可され、今年で15年になりました。
これまでに2500名の方が入院され、90%以上の方が自宅へ退院されました。



回復期リハビリテーション病棟では、自宅生活の再開を目標に1日2～3時間のリハビリを行います。脳卒中の発症などで身体が不自由になり、「今の状態では自宅で生活できない」と困られている方へ、身体機能回復リハビリだけでなく、それぞれの生活や状況に合わせた歩行練習・日常生活動作練習などのリハビリを行います。

また、ご家族への介護指導や福祉用具のアドバイス、住宅改修・介護保険サービスの相談等も行います。自宅生活が安全に再開できるよう、スタッフ一丸となりサポートします。

スタッフ数

・病棟医1名 ・主治医5名 ・看護師17名 ・介護士9名
・医療ソーシャルワーカー1名 ・理学療法士10名 ・作業療法士8名 ・言語聴覚士3名
計54名



回復期リハビリテーション病棟では、入院生活そのものがリハビリとなっています。発症後できるだけ早期にリハビリを行う事で効果が期待できると言われています。但馬で唯一のリハビリ病棟として頑張っていますので、応援よろしくお願いします。

谷医師より

リハビリメニュー



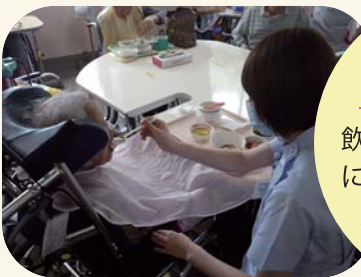
歩行訓練

装具を積極的に使用し、出来るだけ早期から開始します。



川平法 (神経筋促通)

脳卒中の方の麻痺の回復を促進します。



嚥下訓練

飲み込みがスムーズにおこなえるよう食事形態を検討します。



言語訓練

脳卒中後に起こった失語症や呂律難などの回復を促します。

病棟生活そのものがリハビリ



家事 動作練習

掃除機や洗濯、調理の練習もおこないます。和室での動作練習も行います。



園芸

農作業の練習も行っています。

チーム医療の実践



カンファレンス

さまざまな職種がチームを組んでサポートします。



自宅訪問

住宅改修の相談や住宅環境に合わせたリハビリを行います。

患者様に合わせたリハビリをさせていただきます。紹介した内容は一例です。

利用いただける方

* 厚生労働省HPより抜粋



疾患	入院期限
1. 脳卒中、脊髄損傷、頭部外傷、脳腫瘍など	150日、180日以内
2. 大腿骨、骨盤、脊椎もしくは膝関節の骨折発症又は術後	90日以内
3. 外科手術又は肺炎などの治療時の安静による廃用症候群	90日以内
4. 股関節、膝関節置換術、下肢、脊椎の神経・筋損傷	90日以内

* 1.～3.の疾患は、発症・術後2ヶ月以内、4.の疾患は発症・術後1ヶ月以内であることが必要です。詳しい事は病院へお尋ね下さい。





公立八鹿病院DMAT

「熊本地震」活動報告

八鹿DMATリーダー
倉橋 卓男

このたび、平成28年4月14日(木)午後9:26に発生した「熊本地震」(震度7 マグニチュード6.4)を受け、厚生労働省および都道府県から全国の医療機関のDMAT隊(災害派遣医療チーム)へ派遣要請がなされ、但馬地域の災害拠点病院の一つである当院のDMAT隊も現地に赴き災害救急活動を行いましたので、地域の皆様にご報告いたします。

地震発生当初、厚生労働省から全国のDMAT隊に対して待機要請がかかりました。しかし、マスコミの映像を見る限りでは、震度が大きい割には被害が軽微と推測され、当院のDMAT隊も自宅待機状態を継続していました。その後、近畿圏のDMAT隊に対して一時的に待機解除となりましたが、最初の地震発生より二日後の4月16日(土)午前1:25に、ふたたび大きな地震が発生(震度6 マグニチュード7.3:本震?)しました。死者数・ライフライン被害・上益城郡の建築物倒壊被害状況を鑑み、八鹿病院DMATチームのメンバーは、派遣準備と打ち合わせ目的で当院に参集し(同日午前7:30)、出動準備に入りました。その後、兵庫県DMAT調整本部からの指示により待機継続しておりましたが(この時点で、すでに独自判断で出発したチームもあった)、4月18日(月)に、ようやく2次派遣隊としての派遣要請が出たため、同日午後4時20分に院長許可のもと出発することとなりました。

今回の災害現場では、阪神・淡路大震災や東北大震災と違い、死者数は比較的少ないものの、中等度以上の余震が6～7倍の頻度で発生したため避難者が10万人台に上るなど、いくつかの特徴的な現象も見られました。未だに自宅に帰宅できず、長期の避難生活を余儀なくされている被災者の方も多くおられます。実質2日間という短期間での救護活動ではありましたが、今後は、内因性疾患の発症や精神的ストレスの増強など、長期化する避難生活による健康悪化が強く懸念されます。引き続き全国から継続した救護班活動を実行していくことが重要と思われます。



4/18
(月)

16:20

DMATカーで出発

医師1名(倉橋)、看護師2名(A看護師、M看護師)

ロジ2名(F隊員、M隊員)

※ロジ…医療担当者とは別に、情報収集・連絡調整等(ロジスティックス)を担当する業務調整員のこと

4/19
(火)

01:20

宿泊地(福岡県)到着

06:00

起床

08:45

熊本日赤災害拠点本部に向け出発

12:20

熊本日赤災害拠点本部到着(途中渋滞多し)

13:00

定時ミーティング参加しミッション指示待ち

17:00

定時ミーティングで本日のミッションなし、宿舎へ



20:30 宿舎帰途途中にミッションの電話連絡

倒壊の危険性の高い、47床の病院（A病院）から、ほぼ寝たきりの状態の患者11名を、受け入れ可能な4病院へ自衛隊患者搬送用トラック等を利用して、転医搬送せよ。（ミッシ
ョン詳細参照）

22:00 宿舎着

4/20
(水)

04:00 宿舎出発

08:30 ミッション病院到着

10:06 転医対象患者11名の
再トリアージ開始

介護タクシー1名、救急車1名
自衛隊搬送トラック9名
*自衛隊搬送用トラック2台に
当院看護師各1名同乗
全ての車両に病院看護師1名同乗

15:00 ミッション終了

17:00 定時ミーティングでDMAT活動終了、本部撤収と報告。
(赤穂市民病院DMATなど5病院は、熊本日赤夜間ER手伝い)

21:00 福岡市内宿舎着

4/21
(木)

17:30 公立八鹿病院帰着、解散



ミッション詳細

A病院

*前日に、沖縄&下関DMAT隊介入で、入院患者のトリアージ、計18名の患者搬送
(熊本総合病院7名、国保水俣市立総合医療センター11名)済み

- 08:30 支援病院到着し、院長、総師長、事務長にご挨拶
- 08:40 隣の院長宅に避難しておられた、11名のほぼ寝たきり患者様の再トリアージ内、2名はHOT中
- 09:07 海上自衛隊(救急車1台)、陸上自衛隊(患者搬送用トラック3台)到着
- 09:38 海上自衛隊救急車で1名K病院に搬送開始
- 10:06 介護タクシーで1名M病院へ出発(病院看護師1名同乗)
- 09:45 陸上自衛隊トラック1台目3名搬入完了
⇒A看護師、病院看護師1名同乗10:35 K病院へ出発
- 10:25 陸上自衛隊トラック2台目4名搬入完了
⇒M看護師、病院看護師1名同乗10:35 F病院へ出発
- 10:32 陸上自衛隊トラック3台目2名搬入完了
⇒病院看護師1名同乗10:36泉病院へ出発
- 11:45 A看護師隊、K病院到着、搬送終了
- 12:38 M看護師隊、F病院到着、搬送完了
- 13:35 A看護師隊帰投
- 15:00 M看護師隊帰投



看護の日・看護週間イベントを終えて



5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの生誕日であり「看護の日」に制定されています。看護の日を含む週を「看護週間として」今年は、5月13日に看護の心を広めるために、1階受付前ホールを中心に様々なイベントを開催いたしました。

看護フェアでは、健康相談を中心に体組成計測定・血圧測定・手洗いチェッカーなど実際に体験することで日頃の健康管理に関心を持っていただきました。

その他に、栄養相談・お薬相談・リハビリ相談・介護保険の相談コーナーを設け、それぞれの専門スタッフが個別的に相談に対応しました。

またアロママッサージの体験では、実際に体験することで「気持ちよかった」「癒されました」など感想を笑顔で話され、やすらぎを実感していただきました。

各ブースに立ち寄っていただいた、外来患者さんの中には「昨年も血圧や体組成を測ってもらいました。今年はどうかな?」と楽しみにされている方や、「食事に気を付けています」「ウォーキングをしています」などの声も聞かれ、健康への自己管理の関心の高さが伺えました。外来受診の待ち時間を利用し、絵画観賞や、介護用品の展示に足を止め、ピアノ演奏に耳を傾けられる方もありました。優しい音色がフロア一杯に広がりました。

来院されました方々には、アンケートにご協力いただき病院に対しての要望やご意見をうかがうことができました。

ご協力ありがとうございました。



生き生き祭りに参加して



5月1日(日)長寿の郷で開催された「生き生き祭り」に「まちの保健室」の活動として、参加し、血圧測定・体脂肪測定と健康相談を行いました。会場にはゴールデンウィーク中でお天気に恵まれたこともあり、家族連れの若い世代の方から高齢者の方まで幅広い年齢の方が参加されていました。実際に測定をした結果に関心を持たれ説明を聞いて帰られる方や、さらに、病気への不安や健康上の悩みを話される方もありました。

測定値に一喜一憂され、悩みの相談をすることで安心できたと笑顔で帰られる方々と触れ合うことで、地域における「まちの保健室」の役割を感じる事が出来ました。

利用された方の中には日頃から血圧の値を気にして健康づくりの指標にされておられる方もあり、今後、利用される方のリピーターが増え、「まちの保健室」の活動が地域に根付いていくことを期待したいと思います。会場には多くの出店があり、参加したスタッフも楽しい時間を頂きました。



平成28年度ボランティア総会に参加して



平成 28 年度ボランティア総会が、6 月 16 日(木) 13 時 30 分から開催され、いつもお世話になっている 22 名のボランティア会員の方に参加していただきました。

山下看護部長の開会挨拶があり、日頃の活動についてのお礼と感謝の意を伝えられました。

次に、平成 28 年 3 月より公立八鹿病院老人介護保健施設長を兼務されている、谷風病院長よりユーモアを交えながらの挨拶がありました。

その後、前年度のボランティア会長である長島会長の挨拶、そして、平成 28 年度の会長の選出があり、満場一致で長島会長が再任されました。

今年度の講演会は、公立八鹿病院整形外科 手島隆志医師による「腰痛について」のお話でした。腰痛は身近な内容でみなさんの悩みのひとつでもあり、興味深く聞いておられました。講演後は参加者のみなさんからの活発な意見や質問があり和やかで楽しい意見交換となりました。

最後には、参加していた 13 名の看護師長の自己紹介と自部署の紹介、参加されたボランティア会員の皆さんの自己紹介と活動内容を紹介していただき、相互の親睦が深まる良い機会になりました。

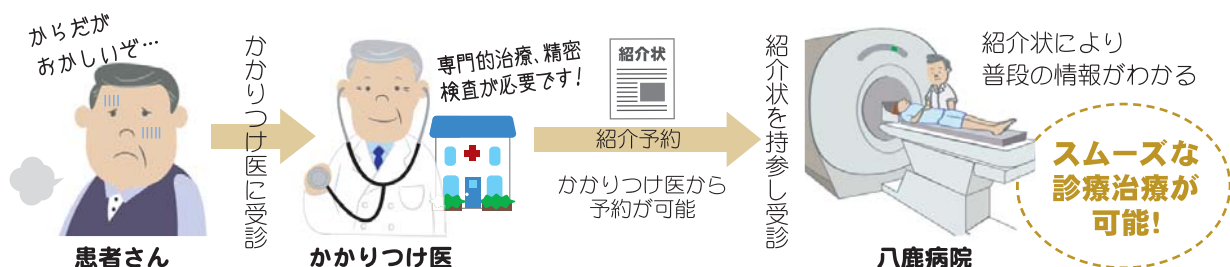
現在、多くのボランティア会員の皆さんに、八鹿病院と老人保健施設で活動をしていただき、患者さま、利用者さま、ご家族のみなさまに大変喜んでいただいています。今後ともよろしくお願い致します。

また、ボランティア活動にご協力いただける方がおられましたら、公立八鹿病院総務課、または看護部長室、老人保健施設までご連絡を下さい。お待ちしております。



かかりつけ医へ通院中の方へ

かかりつけ医へ通院中の方で体調に異常がある場合、直接当院へ来られる前に、まず、かかりつけ医への受診をお勧めします。かかりつけ医の先生から紹介状を書いていただき、それを持参して来院して下さるようお願いいたします。



八鹿病院を動かすチカラ、求め。

平成29年度 公立八鹿病院組合 職員募集

<http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

病院見学
随時受付中

お気軽にどうぞ!

募集職種	人数	受験資格	試験方法	受付期間	試験日	結果発表	採用期日
薬剤師	2名	昭和62年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・教養試験 ・個人面接	平成28年 8月15日(月) ▼ 9月12日(月)	平成28年 9月24日(土)	平成28年 10月下旬 本人へ通知	平成29年 4月1日 採用予定
作業療法士	1名	昭和62年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・教養試験 ・個人面接 ・グループ討議	※看護師・助産師・音楽療法士は除く	会場/ 公立八鹿病院 筆記試験 面接試験		※資格免許取得(卒業)見込みの者は資格免許取得(卒業)が採用の条件。
臨床検査技師	1名	昭和62年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・教養試験 ・個人面接		受験票の送付は、平成28年9月13日以降に郵送いたします。		
診療放射線技師	1名	平成5年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・教養試験 ・個人面接				
介護福祉士	4名	昭和47年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・教養試験 ・個人面接 ・グループ討議				
看護師 助産師	30名	昭和47年4月2日以降に生まれた者で免許取得者又は免許取得見込者の者	・作文試験 ・個人面接	(第1回) 平成28年7月5日(火)必着 (第2回) 平成28年7月27日(水)必着 (第3回) 平成28年8月24日(水)必着	(第1回) 平成28年7月15日(金) (第2回) 平成28年8月6日(土) (第3回) 平成28年9月3日(土)	試験日より4週間以内に本人へ通知します。	
音楽療法士	1名	(1) 資格 日本音楽療法学会認定音楽療法士 (2) 年齢 制限なし (ただし実務経験3年以上)	・書類選考 ・個人面接	随時	随時	試験日より4週間以内に本人へ通知します。	随時

【1】採用試験申込書(本組合所定用紙、写真貼付)

【2】資格免許証の写し

※資格免許証の交付がない者は合格証書の写し

※在学中の者は、卒業・修了見込み証明書

【3】学業成績証明書(最終学校)

※最終学校以外が認定校の場合は、その認定校の学業成績証明書も提出

【4】受験票送付用封筒(宛名を明記し、82円切手貼付)

【5】試験結果通知用封筒(宛名を明記し、82円切手貼付)

※採用試験申込書(本組合所定用紙)の郵送を希望される方は
返信用封筒(宛名を明記し、82円切手貼付)を同封の上、下記へ請求して下さい。
ホームページからのダウンロードも可能です。

書類提出先
お問い合わせ

 公立八鹿病院 人事会計課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1

TEL : 079-662-5555(代)

Mail : jinji@hosp.yoka.hyogo.jp

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL. 079-662-5555(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

